

令和7年2月18日

業務完了報告書

鳴門教育大学教員教育国際協力センター

小澤 大成

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 令和6年度課題別研修 「仏語圏アフリカ 理科分野における教授法改善指導者養成」

(英文) Leadership Training on Improvement of Teaching Method for Science Education for Francophone Countries in Africa

(2) 研修期間 令和7年1月20日～令和7年2月14日

(3) 研修員数 12人

2. 研修内容(添付)

(1) 案件全体概念図

(2) 単元目標毎のカリキュラム構成

(3) 日程表(単元目標と関連付けたもの)

3. 案件目標(アウトカム)と単元目標(アウトプット)の達成度

(1) 案件目標(アウトカム)

案件目標: 効果的な教員研修の実施に向けて, 研修員の理科分野における教員研修・授業実践能力が向上する。

指標: 研修員の質疑応答, 模擬授業・授業研究会およびアクションプランの内容に基づき評価する。

達成度: 研修員の質疑応答, 模擬授業・授業研究会およびアクションプランに「よい理科授業」に必要な要素が含まれているか。また教員研修に関する要素が見られるか。

(2) 単元目標(アウトプット)

単元目標①：各国、所属組織、個人の各段階において教員研修に係る課題を整理できる。

指標： 研修員が研修中に作成した改善計画案の「課題」とその「問題点」に関する記述が 4 段階評価が B（やや優れている）以上。

単元目標②：理科の授業実践の意義・ポイントを説明でき、理科の授業を立案・実施することができる

指標： 研修員が研修中に作成した模擬授業案の中によい理科授業の観点が含まれているか、4 段階評価で B（やや優れている）以上。

単元目標③：理科の授業を観察・分析し、改善案を提示できる。

指標： 研修員の質疑応答に研修手法が取り上げられているか、また授業研究会に研修手法が活用されているか、4 段階評価で B（やや優れている）以上。

単元目標④：理科分野の教授法改善にかかる研修手法を説明できる。

指標： 研修員が作成した改善計画案中の研修に関する記述を評価し、その 4 段階評価が B（やや優れている）以上。

単元目標⑤：理科分野の教授法改善にかかる現職教員研修の具体的な改善計画及び普及案が作成される。

指標： 研修員が作成した改善計画案の記述を評価し、その 4 段階評価が B（やや優れている）以上。